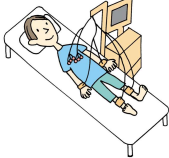
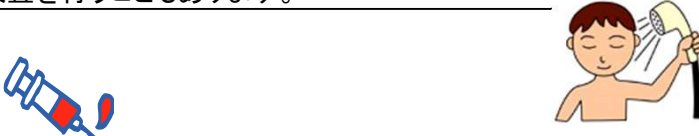
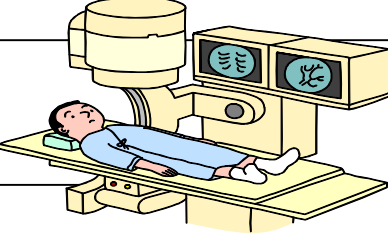


ID: 患者氏名: 様

経過	入院日	検査前日	心臓カテーテル当日(検査前)	心臓カテーテル当日(検査後)	4日目(退院日)
日付	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()		
目標	検査の内容が理解でき、検査を受けることができる。		予定通りに検査が終了する。		退院指導の内容がわかる。
説明 指導 教育	・医師より検査の説明を行います。 ・看護師が入院生活および検査の説明を行います (説明後、承諾書を記入し、提出して下さい) (医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい) ・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。		・検査中ご家族の方は東6B病棟でお待ちください。 	・医師から検査結果について説明があります。 ・検査した手首は、強く曲げたり、力を入れたり、こすったりしないで下さい。 ・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方へ帰宅可能となります。 	・退院指導を行います。 ・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。 (検査直後に行うこともあります) ・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。
治療 処置		・身長・体重を測ります。 ・体温・脈拍・血圧を測ります。 ・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 ・手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。 ・検査に必要な部位(橈骨または大腿)の体毛を剃ります。	・検査の前に排尿し、検査着に着替えます。 ・1時間前に手首の表面を麻酔するためのテープを貼ります。 ・検査前に点滴を行うことがあります。	・点滴を継続します。 ・検査後1時間ごとに圧迫の空気を2mlずつ4回抜きます。 ・4回目の空気を抜いた1時間後に手首に巻いてあるバンドを外します。 ・点滴が終了後、留置針を抜去します。	・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。
検査	・採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。 ・心肺運動負荷試験または運動負荷試験、心臓超音波検査 四肢血圧脈波検査を行うこともあります。				
生活 行動			・車椅子で1階のカテーテル検査室へ行きます。 	・検査後はベッド上で安静にして下さい。 ・1時間後には、トイレまで歩くことができます。 (足の付け根から行った場合は、6時間後になります) ・手首のバンドを外したら、自由に歩くことができます。	
清潔		・毛を剃った後入浴またはシャワー浴ができます。			・傷の状態に異常がなければ入浴できます。
食事	・治療食となります。 (カロリー・塩分制限) ・水分に制限はありません。 		・午前検査は朝食が出ません。 ・午後検査は昼食が出ません。	・検査後、吐き気がなければ飲水・食事を行うことができます。 	
内服薬	・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。				・退院時内服処方が出ます。
観察				・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 ・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。 ・検査終了後、造影剤を早く排泄するために、水分(お茶・水)を多めにとりましょう。	
その他	・検査の状況により、足の付け根の動脈からの検査になる可能性もあります。				
備考	・特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無				

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。